

第2学年*組 外国語（英語）科学習指導案

指導者 J E T 教諭 軍司 翠
A L T Keener Muto

授業の視点	Speakingにおける表現力を高める英語科指導～音読指導の工夫を通して～
-------	---------------------------------------

1 単元 Power-up 6 Speaking 道案内①

2 目標

- 道案内で用いる定型表現を使って、道を尋ねたり、教えたりするコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 道案内で用いる定型表現を使って、簡単な道案内をすることができる。(外国語表現の能力)
- 道案内の会話を聞き、正しく理解し応答することができる。(外国語理解の能力)
- 道案内に特有の英語表現を理解している。(言語や文化についての知識・理解)

3 指導にあたって

英語学習に関する意識調査の結果（平成28年*月*日実施 対象*人）

- ①英語は好きですか。
好き(*人) まあまあ好き(*人) あまり好きではない(*人) 嫌い(*人)
- ②英語の活動で何が好きですか。(複数回答可)
話すこと(*人) 聞くこと(*人) 読むこと(*人) 書くこと(*人)
- ③英語学習の中で、どんな力を身に付けたいですか。
話す力(*人) 聞く力(*人) 読む力(*人) 書く力(*人)

英語学習に関する意識調査の結果から、英語への興味・関心に関しては肯定的な生徒が多い反面、昨年度行われた県学力診断のためのテストでは、学年の平均が、県の平均を5.2ポイント下回った。また、学級の中でも英語が得意な生徒と苦手な生徒に二極化しているという現状もある。どのレベルの生徒でも取り組みやすい活動を授業に取り入れていく必要がある。

本単元では、目的地までの行き方を尋ねたり教えたりする表現を学習する。困っている人に“Would you like some help?”と声をかけたり、“Could you tell me the way to ~?”と丁寧に道を尋ねる表現が重要になる。また、問いに対して具体的な目印を示しながら、分かりやすく道順を教える表現を身に付けることも大切である。2020年に東京オリンピックを控え、海外旅行をする人や海外に在住する人が急増している昨今、英語での道案内は必要とされる場面が多いと考える。

中学校学習指導要領では、「話すこと」の目標は、「初歩的な英語を用いて自分の考えなどを話すことができるようにする。」とある。「話すこと」について慣れ親しむことは、小学校における外国語活動において行われていることを踏まえ、中学校では単に外国語の文法規則や語彙などについての知識を身に付けさせるだけではなく、実際のコミュニケーションを目的として外国語を運用することができる能力の基礎を養うことが重視されている。

本学年では、2学期から、speakingにおける表現力を高める手段の一つとして、様々な音読指導を取り入れている。教科書の音読から始まり、徐々に覚える単語の量を増やしていくことで語彙力を伸ばし、実践的な場面で使える英語を身に付けさせたい。また、道案内で用いる表現を定着させるために、実際に使用する場面を想定してペアで会話を考え、十分に練習をして、自信をもって会話ができるように指導する。

4 学習計画（2時間扱い）

次	時	学習内容	評価規準	評価方法
1	1	道案内に用いる表現 “Would you like some help?” や “Could you tell me the way to ~?” について知り、設定された状況での対話練習をする。	○道案内に特有の英語表現を正確に聞き取り、応答することができる。 (外国語理解の能力) ○道案内に用いる定型表現を理解し、正確な発音やイントネーションで対話練習をしている。 (言語や文化についての知識・理解)	・観察 ・自己評価カード ・観察 ・自己評価カード
	2 (本時)	道案内において用いられる基本的な英語表現を使って、自由にグループで状況を設定してロールプレイをする。	○道案内で用いる定型表現を使って、道を尋ねたり、教えたりするコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ○自由な発想で状況設定をし、適切な道案内の表現を使ってやり取りをすることができる。 (外国語表現の能力)	・観察 ・自己評価カード ・撮影した映像 ・観察

5 本時の指導

(1) 目標

- 道案内で用いる定型表現を使って、道を尋ねたり、教えたりするコミュニケーション活動に積極的に参加しようとする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- 自由な発想で状況設定をし、適切な道案内の表現を使ってやり取りをすることができる。(外国語表現の能力)

(2) 準備・資料

タブレット（二人で1台）、電子黒板、すごろく台紙、拡大地図、自己評価カード

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価	
	T1: JET	T2: ALT
<p>1 挨拶をする。 タブレットを使って、ペアごとに既習事項についての早押し問題に取り組む。 () you like some help? Could you () me the way to the Mito station? It'll () about 30 minutes.</p>	<ul style="list-style-type: none"> 元気に挨拶し、英語学習の雰囲気づくりをする。 タブレットの操作に遅れがちなペアに対し、個別に支援する。 英文法の復習の機会とし、解説も入れながら答えを提示する。 早く正確に答えられた生徒を称賛し、明るい雰囲気をつくる。 	<ul style="list-style-type: none"> 画面に提示された問題や答えを読み上げ、英語を読むことが苦手な生徒にもヒントを与える。 正しい英文をリピートさせ、印象付ける。 Would you~?やCould you~?など、つなげて読む表現を意識させる。
<p>2 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>道案内in Ibaraki town! ~Could you tell me the way to the Aoba elementary school?~</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> 学習課題を明確にし、個々の生徒が見通しをもって活動できるようにする。 	
<p>3 3人組で道案内のロールプレイをする。</p> <p>(1) 前時で学習した重要表現を復習する。 Would you like some help? Could you tell me the way~? It'll take~.</p> <p>(2) T1とT2のロールプレイを見る。</p> <p>(3) 3人一組でロールプレイを行う。 ・茨城町の地図を見ながら、スタート地点と目的地を決める。 ・道案内の会話を考える。 ・会話練習を行う。 ・2人のロールプレイを1人が撮影する。役割を交代しながら全員が撮影できるまで行う。</p> <p>(4) 代表のグループの発表を視聴する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 重要表現を黒板に提示し、前時を振り返る。 リピートする際は、できるだけ暗記するよう促す。 電子黒板に実際の地図を映し出し、場面をイメージしやすいよう配慮する。 自己評価カードを配付し、評価の観点を知らせることで、目標を明確にさせる。 うまく会話が作れないグループに、個別に助言する。 アイコンタクトやジェスチャーを交えて、自然な会話を意識するよう助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> 理解しやすいように、始めはゆっくり読み、徐々に早く読むようにする。 アイコンタクトやジェスチャーなどを交え、自然な会話を意識する。 英語が得意な生徒には、発展的な会話を作るよう助言する。 発音やイントネーションにも意識して発表するよう促す。 会話の内容が理解できていないと思われる生徒には易しい英語でヒントを与える。
	<p>① 道案内で用いる定型表現を使って、道を尋ねたり、教えたりするコミュニケーション活動に積極的に参加している。(関心・意欲・態度、観察・自己評価カード)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標が達成できない生徒には個別にヒントを与えて活動を促す。 <p>② 自由な発想で状況設定をし、適切な道案内の表現を使ってやり取りをすることができる。(表現、撮影した動画・観察)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標が達成できない生徒には見えそうな単語や表現を個別に教え、活動を促す。 	
<p>4 本時のまとめをし、自己評価を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 道案内の表現を適切に使って会話をすることができた。 アイコンタクトやジェスチャーを工夫するとさらに良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の発表と比較し、振り返るよう促す。 本時の学習を振り返り、次時の学習意欲につなげる。 	